

# アルゴリズム・データ構造 I

## 授業の目的・概要

アプリケーション開発・運用・利用をマネジメント・評価する上で基礎となる、アルゴリズムの考え方を身につける。

科	DX ビジネス学科	教員	中川 太貴
コース	DX ビジネスコース	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 コマ

## 目標

### 前期

アルゴリズムの基礎となる、「変数」と「配列」のデータ構造を理解できる。

流れ図/疑似言語の読み取りができる。

流れ図を用いて、記号が 10 個程度のアルゴリズムを記述できる。

### 後期

基礎的な探索アルゴリズム/整列アルゴリズムを理解できる。

流れ図を用いて、記号が 15 個程度のアルゴリズムを記述できる。

## 授業計画

### 前期

第 1 週 オリエンテーション（授業の目的、評価方法）

第 2 週 アルゴリズムとプログラムの関係

第 3 週 コンピュータ基礎知識

第 4 週 良いアルゴリズムとは

第 5 週 アルゴリズムの基本形

第 6 週 流れ図と疑似言語

第 7 週 変数(データ型/代入)

第 8 週 配列(参照)

第 9 週 三角形の面積を計算する

第 10 週 データの大小を判定する

第 11 週 変数のデータを入れ替える

第 12 週 合計を計算する

第 13 週 最大値を探す

第 14 週 試験

第 15 週 試験返却

第 16 週 再試験

〈後期〉

第 1 週 探索アルゴリズム(線形探索法/概要)

第 2 週 探索アルゴリズム(線形探索法/実装)

第 3 週 探索アルゴリズム(二分探索法/概要)

第 4 週 探索アルゴリズム(二分探索法/実装)

第 5 週 探索アルゴリズム(ハッシュ探索法/概要)

第 6 週 探索アルゴリズム(ハッシュ探索法/データの衝突)

第 7 週 探索アルゴリズム(ハッシュ探索法/実装)

第 8 週 整列アルゴリズム(単純選択法/概要)

第 9 週 整列アルゴリズム(単純選択法/実装)

第 10 週 整列アルゴリズム(単純交換法/概要)

第 11 週 整列アルゴリズム(単純交換法/実装)

第 12 週 整列アルゴリズム(単純挿入法/概要)

第 13 週 整列アルゴリズム(単純挿入法/実装)

第 14 週 試験

2024 年度

第 15 週 試験フィードバック

第 16 週 再試験

授業の方法

講義、問題演習

教材

伊東静香(2012)『アルゴリズムを、はじめよう』インプレス

栢木厚(2023)『令和 06 年 イメージ&クレバー方式でよくわかる かやのき先生の IT パスポート教室』技術評論社

評価の方法

試験 80%、平常点 20%

平常点は授業態度に応じて評価する。

授業外での学習方法

IT パスポート過去問道場(<https://www.itpassportsiken.com/ipkakomon.php>)

実務経験と授業科目の関係

# キャリアデザイン I

## 授業の目的・概要

考える力・行動する力を身につけながら就職活動をおこない、内定を獲得する。

科	DX ビジネス	教員	中川
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	—
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 (週 1 コマ)

## 目標

- 1)自分で考え行動する力をつける。
- 2)自分を客観視する事ができる。

## 授業計画 前期 32 コマ・後期 32 コマ

### <前期>

- 第 1 回 アイスブレイク・スケジュール・ビザ (JASSO p61)
- 第 2 回 身だしなみ (p105-106) ・求められるもの (p4-5)
- 第 3 回 「働く」とは (p6-7) ・企業の求める「専門学校生」像とは (p8-9) ・業界クリップボード (p10)
- 第 4 回 目標設定 (p14-15) ・自己分析とは/どんな仕事に興味があるのか (p16-17)
- 第 5 回 結論ファーストの話し方・自分の強み (p18-19)
- 第 6 回 振り返りシート (p36-37)
- 第 7 回 自分の性格を知ろう (p39-41) ・長所と短所のまとめ (p43)
- 第 8 回 自分と仕事について考える (p44-47)
- 第 9 回 業種 (p48) ・職種 (p51)
- 第 10 回 求人の探し方・求人の見方 (p54)
- 第 11 回 志望動機の作成 (p61)

第 12 回 自己分析の結果まとめ (p63)

第 13 回 復習

第 14 回 テスト

第 15 回 返却

第 16 回 再テスト

<後期>

第 1 回 1 学期復習

第 2 回 目標の確認・後期目標再設定

第 3 回 履歴書作成

第 4 回 履歴書作成

第 5 回 履歴書作成

第 6 回 面接の流れ・実践

第 7 回 面接（自己紹介）準備

第 8 回 実践

第 9 回 面接（長所・短所）準備

第 10 回 実践

第 11 回 面接（自己 PR）準備・実践

第 12 回 目標の確認・再設定

第 13 回 復習

第 14 回 テスト

第 15 回 返却

第 16 回 再テスト

#### 授業の方法

講義

プリントを配ったらノートに貼らせる。

2024 年度

#### 教材

##### 参考 HP

江口 克彦 (2008) 『自己分析からはじめる就職活動ガイドブック』 PHP 研究所

釜淵 優子 (2008) 『しごとの日本語ビジネスマナー編』 アルク

##### 参考 HP

外国人留学生のための就活ガイド

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after\\_study\\_j/job/\\_icsFiles/afieldfile/2023/11/20/guide\\_2025\\_all.pdf](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/_icsFiles/afieldfile/2023/11/20/guide_2025_all.pdf)

f

#### 評価の方法

試験 80%、平常点 20%

試験は紙テスト (20 点) + 実技テスト (60 点) で評価する。

ノート忘れは減点 (出欠確認時に持参しているか確認する)。

平常点は、授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

合同説明会へ参加する

#### 実務経験と授業科目の関係

—

# ビジネスコミュニケーション I

## 授業の目的・概要

日本語能力試験 JLPT N3 に合格できるよう、「日常的な場面」でよく使う漢字 403 字 (N4 レベルの 32 字を含む)の意味を理解し、読み書きを身に着ける。

科	DX ビジネス学科	教員	東矢 優月
コース	DX ビジネスコース	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	64 コマ

## 目標

- 教科書全 9Unit に記載されている新出漢字の音読み・訓読みを正しく読み分けることができる。
- 試験問題の対応ができるよう、同音異義語や対義語と一緒に覚え、正しく使い分けることができる。
- 各 Unit のドリルとまとめ問題を繰り返し練習することで、漢字の意味と読み書きを定着させた上で 7 月と 12 月の日本語能力試験を受験し、N3 に合格することができる。
- 既に JLPT N3 を保持している学生、または 7 月の JLPT で合格した学生については、N2・N1 の合格を目指し、1 と 2 に加え、教科書に収録されている実力テスト 1・2 において満点を取ることができる。

## 授業計画

### 授業計画

#### 【下位クラス】

#### 前期

- 第 1 回 アイスブレイク・自己紹介・授業目標・評価方法・進め方について確認
- 第 2 回 Unit1 飛行機 1 ABC 空港で
- 第 3 回 Unit1 飛行機 2 飛行機の中で(1)
- 第 4 回 Unit1 飛行機 3 飛行機の中で(3)
- 第 5 回 Unit1 飛行機 4 飛行機の中で(3)

第 6 回 Unit1 飛行機 5 日本の空港で

第 7 回 まとめ問題 A・B

第 8 回 Unit2 外出 1 駅のホームで

第 9 回 Unit2 外出 2 乗り換えの駅で (1)

第 10 回 Unit2 外出 3 乗り換えの駅で (2)

第 11 回 Unit2 外出 4 電車の中で

第 12 回 Unit2 外出 5 交差点で

第 13 回 まとめ問題 A・B

第 14 回 Unit3 リサの生活 1 住んでいるところ

第 15 回 Unit3 リサの生活 2 仕事の話

第 16 回 Unit3 リサの生活 3 ピザの配達

第 17 回 Unit3 リサの生活 4 ごみの捨て方

第 18 回 Unit3 リサの生活 5 郵便局へ

第 19 回 まとめ問題 A・B

第 20 回 Unit4 マリオの生活 (1) 1 留学生会館

第 21 回 Unit4 マリオの生活 (1) 2 日本語の授業

第 22 回 Unit4 マリオの生活 (1) 3 資料集

第 23 回 Unit4 マリオの生活 (1) 4 歴史の授業

第 24 回 Unit4 マリオの生活 (1) 5 近所の店

第 25 回 まとめ問題 A・B

第 26 回 Unit5 マリオの生活 (2) 1 野球の練習

第 27 回 Unit5 マリオの生活 (2) 2 試合

第 28 回 Unit5 マリオの生活 (2) 3 交通事故

第 29 回 期末試験対策

第 30 回 期末試験

第 31 回 試験返却、フィードバック

第 32 回 再試験

後期

第 1 回 授業目標・評価方法・進め方について確認/ Unit 5 マリオの生活 (2) 4 病院からの電話

第 2 回目 Unit5 マリオの生活 (2) 5 優勝した夢

第 3 回 まとめ問題 A・B

第 4 回 Unit6 気持ち・様子・動作 1 気持ちを表す言葉(1)

第 5 回 Unit6 気持ち・様子・動作 2 気持ちを表す言葉(2)

第 6 回 Unit6 気持ち・様子・動作 3 様子を表す言葉

第 7 回 Unit6 気持ち・様子・動作 4 動作を表す言葉(1)

第 8 回 Unit6 気持ち・様子・動作 5 様子を表す言葉(2)

第 9 回 まとめ問題 A・B

第 10 回 Unit7 自然 1 天気

第 11 回 Unit7 自然 2 植物

第 12 回 Unit7 自然 3 虫など

第 13 回 Unit7 自然 4 風景

第 14 回 Unit7 自然 5 昔と未来

第 15 回 まとめ問題 A・B

第 16 回 Unit8 いろいろな経験 1 病気

第 17 回 Unit8 いろいろな経験 2 お祭で

第 18 回 Unit8 いろいろな経験 3 警察で

第 19 回 Unit8 いろいろな経験 4 芸術

第 20 回 Unit8 いろいろな経験 5 面接

第 21 回目 まとめ問題 A・B

第 22 回 Unit9 社会 1 産業

第 23 回 Unit9 社会 2 経済

第 24 回 Unit9 社会 3 政治

第 25 回 Unit9 社会 4 情報

第 26 回 Unit9 社会 5 理想

第 27 回 まとめ問題 A・B

第 28 回 実力テスト第 1 回、第 2 回

第 29 回 期末試験対策

第 30 回 期末試験

第 31 回 試験返却、フィードバック

第 32 回 再試験

【上位クラス】

前期

第 1 回 アイスブレイク・自己紹介・授業目標・評価方法・進め方について確認/ Unit 1 衣食住 1 季節

第 2 回 Unit1 衣食住 2 衣類

第 3 回 Unit1 衣食住 3 住居

第 4 回 Unit1 衣食住 4 お菓子

第 5 回 Unit1 衣食住 5 栄養

第 6 回 まとめ問題 A・B

第 7 回 Unit2 趣味・活動 1 市民芸術祭

第 8 回 Unit2 趣味・活動 2 展示会

第 9 回 Unit2 趣味・活動 3 旅行

第 10 回 Unit2 趣味・活動 4 試合

第 11 回 Unit2 趣味・活動 5 スポーツジム

第 12 回 まとめ問題 A・B

第 13 回 Unit3 人・心・カラダ 1 家族

第 14 回 Unit3 人・心・カラダ 2 ペット

第 15 回 Unit3 人・心・カラダ 3 悩み

第 16 回 Unit3 人・心・カラダ 4 宗教

第 17 回 Unit3 人・心・カラダ 5 敬語

第 18 回 Unit3 人・心・カラダ 6 体

第 19 回 まとめ問題 A・B

第 20 回 Unit4 仕事・組織 1 雇用

第 21 回 Unit4 仕事・組織 2 転職

第 22 回 Unit4 仕事・組織 3 論文

第 23 回 Unit4 仕事・組織 4 寄付

第 24 回 Unit4 仕事・組織 5 依頼

第 25 回 まとめ問題 A・B

第 26 回 Unit5 自然・環境 1 地理

第 27 回 Unit5 自然・環境 2 資源

第 28 回 Unit5 自然・環境 3 環境

第 29 回 期末試験対策

第 30 回 期末試験

第 31 回 試験返却、フィードバック

第 32 回 再試験

#### 後期

第 1 回 授業目標・評価方法・進め方について確認/ Unit 5 自然・環境 4 農業

第 2 回 Unit5 自然・環境 5 台風

第 3 回 まとめ問題 A・B

第 4 回 Unit6 地域生活 1 防災訓練

第 5 回 Unit6 地域生活 2 火災

第 6 回 Unit6 地域生活 3 交通トラブル

第 7 回 Unit6 地域生活 4 盗難事件

第 8 回 Unit6 地域生活 5 犯罪

第 9 回 まとめ問題 A・B

第 10 回 Unit7 社会 1 政治

- 第 11 回 Unit7 社会 2 経済
- 第 12 回 Unit7 社会 3 国際問題
- 第 13 回 Unit7 社会 4 信頼できる情報
- 第 14 回 Unit7 社会 5 健康管理
- 第 15 回 まとめ問題 A・B
- 第 16 回 Unit8 科学 1 宇宙
- 第 17 回 Unit8 科学 2 化学
- 第 18 回 Unit8 科学 3 物理学
- 第 19 回 Unit8 科学 4 実験
- 第 20 回 Unit8 科学 5 数学
- 第 21 回 まとめ問題 A・B
- 第 22 回 Unit9 学問・研究 1 統計
- 第 23 回 Unit9 学問・研究 2 アンケート調査
- 第 24 回 Unit9 学問・研究 3 考察
- 第 25 回 Unit9 学問・研究 4 質問
- 第 26 回 Unit9 学問・研究 5 研究室
- 第 27 回 まとめ問題 A・B
- 第 28 回 実力テスト第 1 回、第 2 回
- 第 29 回 期末試験対策
- 第 30 回 期末試験
- 第 31 回 試験返却、フィードバック
- 第 32 回 再試験

#### 授業の方法

- ・教科書に沿って各 Unit の新出漢字の読み・書きを練習させる
- ・授業の開始時に、前回の授業で取り扱った漢字の読みを復習させる。
- ・授業時間が余った際や、進捗度の早い学生・JLPT N2 以上の合格を目指す学生がいる場合には、JLPT 過去問などのプリントを準備し、補足として説明する。

2024 年度

#### 教材

清水 知子、大場 理恵子（2018）『日本語能力試験問題集 N3 漢字 スピードマスター』ジェイ・リサーチ  
出版

#### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

期末試験は授業で取り扱った教科書の範囲よりペーパーテストを実施する。

平常点は授業態度・出席状況・問題演習への取り組みを総合的に評価する。

#### 授業外での学習方法

授業で習った漢字を読む/ 練習して書く/ 日常生活でよく使う漢字に着目する/ 毎日 WEB EASY NEWS や  
YouTube で 5 分以上日本語のニュースに触れる時間を取るよう促す。

#### 実務経験と授業科目の関係

# ビジネスマナー I

## 授業の目的・概要

- 日本や日本人との労働環境に順応できるビジネススキルを理解し、マナーに準じた判断ができるようになる。
- 日本の就職活動の方法を理解したうえで、日本人と同じように就職活動をおこない内定を獲得するスキルを修得する。

科	DX ビジネス	教員	林 裕二
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 時間(週 1 時間)

## 目標

- 日本の会社に就職するための手順やスケジュールを理解して、期限までに必要な準備ができる。
- 自分が就きたい職種を決めて、仕事内容について説明できる。
- 自己分析によって自分を知り、適切な日本語でアウトプットできる。
- 履歴書の書き方を理解して、必要なときに準備できる。
- 就職活動に適した服装や身だしなみを理解して準備できる。
- 面接に必要な所作の基本を理解し、滞りなく実践できる。

## 授業計画

〈前期〉

週	内容	詳細
第 1 週	日本で就職を始める前に 日本の就職活動就活スケジュール	「外国人留学生のための就活ガイド 2025」よりプリント配布、解説
第 2 週	自己分析① 過去の自分史	「楽しかったこと」「がんばったこと」「辛かったこと」の作文

第 3 週	自己分析② 未来の自分史	3 年後、5 年後、10 年後、仕事と生活の目標、どうなっていたいかの作文
第 4 週	自己分析③ 日本とのつながり	どうして日本で勉強しているのか、どうして日本で仕事をしたいのかの作文
第 5 週	応募書類①履歴書左欄	学校指定履歴書使用
第 6 週	業界研究	「外国人留学生のための就活ガイド 2025」よりプリント配布、解説
第 7 週	職種研究	「外国人留学生のための就活ガイド 2025」よりプリント配布、解説
第 8 週	エントリーと説明会①	「外国人留学生のための就活ガイド 2025」よりプリント配布、解説
第 9 週	エントリーと説明会②	マイナビ 2026、リクナビ 2026 登録
第 10 週	自己分析④ 自己紹介	自己紹介の作文
第 11 週	応募書類②履歴書右欄	趣味・特技、授業以外に力を注いだことの作文
第 12 週	面接①所作	お辞儀、座り方、あいさつ
第 13 週	試験前演習	
第 14 週	試験	作文課題提出 実技試験
第 15 週	試験返却、フィードバック	
第 16 週	再試験	

〈後期〉

週	内 容	詳 細
第 1 週	面接②所作	自己紹介
第 2 週	自己分析⑤ 学校で勉強していること	勉強していること、できること、努力したことの作文
第 3 週	自己分析⑥ 長所	自分の長所とエピソードの作文
第 4 週	自己分析⑦ 短所	自分の短所とエピソードの作文
第 5 週	応募書類③履歴書右欄	得意な専門分野、自己 PR の作文
第 6 週	身だしなみの準備	スーツ等の服装、身に着けるもの、購入準備指導
第 7 週	企業との対応マナー①	企業に電話をかける、企業からの電話を受ける
第 8 週	企業との対応マナー②	企業にメールを送る、企業からのメールに返事をする
第 9 週	面接のマナー①	面接の所作（入室から自己紹介して退出まで）

第 10 週	面接のマナー②	面接の所作（入室から自己紹介して退出まで）
第 11 週	面接のマナー③	面接の所作（入室から自己紹介して退出まで）
第 12 週	企業検索	志望業界、志望職種を決める
第 13 週	試験前演習	
第 14 週	試験	作文課題提出 実技試験
第 15 週	試験返却、フィードバック	
第 16 週	再試験	

#### 授業の方法

- ・ 使用教材のプリント配布を用いた講義を行う。
- ・ 自己分析等の作文ではワーク用のプリントを配布する。
- ・ 内容によっては実践的な演習を行う。

#### 教材

##### 参考 HP

外国人留学生のための就活ガイド 2025 [https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after\\_study\\_j/job/guide.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/guide.html)

#### 評価の方法

試験 80%、平常点 20%

##### 〈前期〉

作文課題提出（どうして日本で勉強しているか、自己紹介の作文）（40 点）

実技試験（お辞儀、座り方、あいさつ）（40 点）

##### 〈後期〉

作文課題提出（学校で勉強していること、自己 PR の作文）（40 点）

実技試験（入室から自己紹介して退出まで）（40 点）

平常点は、授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

2024 年度

- ・ アルバイトを通じて日本の社会、日本人の特徴を感じ、適切な振る舞いを心がける。
- ・ 日々の生活では常に就職活動を意識して、将来就職して社会で働くイメージを持つ。

実務経験と授業科目の関係

# ビジネス表計算 I

## 授業の目的・概要

PC の基本操作を理解して、タイピングができるようになる。

表計算ソフト「Google スプレッドシート」の基本的な操作方法を身に付ける。

科	DX ビジネス	教員	竹中
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 時間

## 目標

### 前期

- ・ PC を正しく起動・シャットダウンできる。
- ・ ローマ字入力表を見ずにタイピングができる。
- ・ スプレッドシートを用いて、連続データを入力することができる。

### 後期

- ・ 与えられたデータを表にまとめることができる。
- ・ 関数を使って合計や平均を求めることができる。
- ・ 与えられたデータからグラフをつくることができる。

## 授業計画

### 前期

#### 第 1 回 オリエンテーション

： 授業目的・目標・評価について、PC 取扱注意事項

#### 第 2 回 PC や入力操作の基本①

： PC の種類と起動、マウスの操作、Windows の画面とアプリケーションの起動

第 3 回 PC や入力操作の基本②

：キーボードの名称と機能、ローマ字・ひらがな・漢字、タッチタイピング

第 4 回 PC や入力操作の基本③

：入力モードと日本語 IME、ひらがなの入力と漢字変換

第 5 回 フォルダーやファイル操作の基本①

：ウィンドウの操作、ファイル・フォルダーの作成と移動

第 6 回 フォルダーやファイル操作の基本②

：ファイル・フォルダー表示の変更、ファイルの拡張子

第 7 回 Google アカウント作成

：アカウント作成（教員指定のユーザー名・パスワード）、Google アプリと Microsoft アプリの機能

第 8 回 スプレッドシートの基本①

：スプレッドシートの起動と終了、保存フォルダーの作成、スプレッドシートの画面

第 9 回 スプレッドシートの基本②

：シートの作成と削除、スプレッドシートの保存、スプレッドシートの読み込み

第 10 回 スプレッドシートの基本③

：テンプレート、シートの印刷

第 11 回 セル操作の基本①

：セルとシートの基本、データの入力と修正、データの消去・セルの削除・セルの挿入

第 12 回 セル操作の基本②

：データのコピーと移動、オートフィル、セルの表示形式

第 13 回 表の作成と編集①

：配置、フォント、枠線

第 14 回 復習

：試験範囲の発表・復習

第 15 回 期末試験

第 16 回 試験返却

: フィードバック

後期

第 1 回 オリエンテーション

: 授業目的・目標・評価について、1stTerm の復習

第 2 回 表の作成と編集②

: 塗りつぶし、表のテーマ

第 3 回 表の作成と編集③

: 表の検索と置換、表の並べ替えとピボットテーブルの解除

第 4 回 数式と参照①

: 合計の計算、関数を使った合計や平均の計算、相対参照

第 5 回 数式と参照②

: 絶対参照、複合参照

第 6 回 グラフ機能と素材の挿入①

: 円グラフの作成、グラフの移動とサイズ変更、グラフの色・レイアウト・スタイルの変更

第 7 回 グラフ機能と素材の挿入②

: 棒グラフの作成、グラフの種類や表示の変更、画像・図形・オンライン画像の挿入

第 8 回 関数①

: 関数の基本、合計、平均

第 9 回 関数②

: 最大、最小

第 10 回 関数③

: IF 関数と条件分岐、IFS 関数と複数の条件分岐

第 11 回 表・グラフの作成①

: 新規ファイルの作成、表作成

第 12 回 表・グラフの作成②

: 関数の利用、グラフ作成

2024 年度

第 13 回 表・グラフの作成③

：シートの印刷、データの並べ替え

第 14 回 復習

：試験範囲の発表・復習

第 15 回 期末試験

第 16 回 試験返却

：フィードバック

授業の方法

講義、演習、グループワーク

教材

桑名由美（2022）『Google Workspace 完全マニュアル[第 2 版]』秀和システム

榎村 麻里子、松下 孝太郎（2020）『留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint 入門』技術評論社

参考 HP（タイピング）

<https://manabi.benesse.ne.jp/gakushu/typing/>

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

平常点は、授業態度に応じて評価する。

授業外での学習方法

積極的に PC に触れ、授業で利用状況を報告。

実務経験と授業科目の関係

# 英語 I

## 授業の目的・概要

基礎的な文法事項の学習に加え TOEIC の実践問題演習を通して、TOEIC L & R で 600 点以上取得に必要な力を身に着ける。

科	DX ビジネス	教員	中塚 愛実
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	64 時間

## 目標

### 【前期】

- ・ 基礎的な文法事項を身に着ける。

品詞、現在形、現在進行形、過去形、未来形、形容詞、副詞、前置詞、助動詞など

### 【後期】

#### Listening

- ・ Listening Part1-2 の出題形式を理解する。
- ・ Listening Part1-2 のテクニックやコツを身に着け、戦略的にテストを進めることができる。  
(消去法を使った回答、問題文の先読み、出題内容の推測、必要箇所を集中して聞くなど。)

#### Writing

- ・ Reading Ppart-5-7 の出題形式を理解する。
- ・ Reading Ppart-5-7 のテクニックやコツを身に着け、戦略的にテストを進めることができる。  
(段落ごとの要点を明確にするなど)

## 授業計画

### 【前期】

※前期の文法補助教材は下記リンクを参照

<https://happylic.net/english.html#link25>

- 第 1 回 英語で自己紹介、アイスブレイク、授業の概要説明、TOEIC の試験構成
- 第 2 回 模擬試験(TOEIC の試験を実際に解いて学生のレベルを図る)
- 第 3 回 文の要素と品詞(主語、動詞、目的語、補語など) Reading Practice(Part5-Unit1)
- 第 4 回 動詞(現在形の肯定文、否定文、疑問文) Reading Practice(Part5-Unit2)、単語テスト
- 第 5 回 動詞(現在進行形)① Reading Practice(Part5-Unit2)、単語テスト
- 第 6 回 動詞(現在進行形)② Reading Practice(Part5-Unit2)
- 第 7 回 動詞(過去形)① Reading Practice(Part5-Unit2)、単語テスト
- 第 8 回 動詞(過去形)② Reading Practice(Part5-Unit2)
- 第 9 回 動詞(現在完了形)① Reading Practice(Part5-Unit2)、単語テスト
- 第 10 回 動詞(現在完了形)② Reading Practice(Part5-Unit2)
- 第 11 回 動詞(未来形)① Reading Practice(Part5-Unit2)、単語テスト
- 第 12 回 動詞(未来形)② Reading Practice(Part5-Unit2)
- 第 13 回 形容詞 Reading Practice(Part5-Unit3)、単語テスト
- 第 14 回 副詞 Reading Practice(Part5-Unit3)
- 第 15 回 前置詞① Reading Practice(Part5-Unit4)、単語テスト
- 第 16 回 前置詞② Reading Practice(Part5-Unit4)
- 第 17 回 名詞 Reading Practice(Part5-Unit6)、単語テスト
- 第 18 回 代名詞① Reading Practice(Part5-Unit6)
- 第 19 回 代名詞② Reading Practice(Part5-Unit6)、単語テスト
- 第 20 回 助動詞(can)①
- 第 21 回 助動詞(can)②、単語テスト
- 第 22 回 助動詞(must、have to～)①
- 第 23 回 助動詞(must、have to～)②、単語テスト
- 第 24 回 助動詞(must、have to～)②
- 第 25 回 接続詞(when、if、because)① Reading Practice(Part5-Unit7)、単語テスト

- 第 26 回 接続詞(when、if、because)② Reading Practice(Part5-Unit7)
- 第 27 回 接続詞(when、if、because)③ Reading Practice(Part5-Unit7)、単語テスト
- 第 28 回 期末試験前復習問題①
- 第 29 回 期末試験前復習問題②
- 第 30 回 期末試験
- 第 31 回 試験返却
- 第 32 回 再試験

**【後期】**

※週に 1 回単語テストを実施する。

- 第 1 回 ガイダンス、1 学期の文法総復習
- 第 2 回 Listening Practice 写真描写問題(Part1-Unit1)
- 第 3 回 Listening Practice 写真描写問題(Part1-Unit2) + 単語テスト
- 第 4 回 Listening Practice 応答問題 (Part2-Unit3、Unit4)
- 第 5 回 Listening Practice 応答問題(Part2-Unit5、Unit6) + 単語テスト
- 第 6 回 Listening Practice 応答問題(Part2-Unit7、Unit8、Unit9)
- 第 7 回 グループワーク(既習の範囲のフレーズで英作文をする)
- 第 8 回 発表
- 第 9 回 Reading Practice 長文穴埋め問題 (Part6-Unit8) + 単語テスト
- 第 10 回 Reading Practice 長文穴埋め問題 (Part6-Unit9)
- 第 11 回 Reading Practice 読解問題(Part6-Unit10) + 単語テスト
- 第 12 回 Reading Practice 読解問題(Part6-Unit10)
- 第 13 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit11) + 単語テスト
- 第 14 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit12)
- 第 15 回 グループワーク(既習の範囲のフレーズで英作文をする)
- 第 16 回 発表
- 第 17 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit13) + 単語テスト

- 第 18 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit14)
- 第 19 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit15) + 単語テスト
- 第 20 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit16)
- 第 21 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit17) + 単語テスト
- 第 22 回 グループワーク(既習の範囲のフレーズで英作文をする)
- 第 23 回 発表
- 第 24 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit18) + 単語テスト
- 第 25 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit19)
- 第 26 回 Reading Practice 読解問題(Part7-Unit20) + 単語テスト
- 第 27 回 Mini テスト①
- 第 28 回 期末試験前復習 + 単語テスト
- 第 29 回 期末試験前復習②
- 第 30 回 期末試験
- 第 31 回 試験返却
- 第 32 回 再試験

#### 授業の方法

講義、問題演習、小テスト

#### 教材

Educational Testing (2020) 『公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編』国際ビジネスコミュニケーション協会

Educational Testing Service (2020) 『公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編』国際ビジネスコミュニケーション協会

前期文法教材↓

<https://happylic.net/english.html#link25>

単語テスト用教材↓

TEX 加藤 (2017) 『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ (TOEIC TEST 特急シリーズ)』朝日新聞

2024 年度

出版

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

平常点は、授業態度や小テストの評価点に応じて評価する。

授業外での学習方法

週に 1 回 TOEIC 単語集を使って小テストを行う。

実務経験と授業科目の関係

# 統計学 I

## 授業の目的・概要

表やグラフを読み取り、数値を求めることができる。

グラフや統計学に基づく根拠を用いて、分析し、伝えることができる。

データから自分なりの仮説を立て、検証することができる。

データを効率的に処理・分析し、その結果から売上を向上させるアイデアを提案できるようになる。

科	DX ビジネス	教員	大峠 唯舞
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	64 コマ

## 目標

### 前期

- 与えられたデータを適切を表やグラフに集約することができる。
- 平均値や中央値など統計学で使用される数値の意味を理解し、それぞれの特性を説明することができる。
- 数値やグラフから傾向、特徴を自分なりに分析し、説明することができる。
- 標準化の概念を理解し、計算することができる。

### 後期

- 散布図を読み取り相関関係を分析することができる。
- データから自分なりの仮説を立て、統計学的根拠を用いて、証明し、問題解決の提案ができるようになる。

## 授業計画

### 前期

第 1 回 オリエンテーション（学習内容の説明、学習の意義、成績評価方法、授業のルール説明）

第 2 回 統計学とは（データ解析の目的と手法、データの読み取り）

第 3 回 PC の利用方法、スプレッドシートのログイン、シートの共有、シートの操作方法、保存方法

第 4 回 表とグラフの読み取り

第 5 回 データの集約方法（表の作成、棒グラフ、円グラフの作成）

第 6 回 計算式の入力方法①（キーボード対応表、半角と全角、四則計算など）

第 7 回 計算式の入力方法②（関数、合計、平均の計算）

第 8 回 度数分布表（最頻値、階級数、階級の幅の求め方）

第 9 回 度数分布表の作成①（最大値、最小値の入力方法）

第 10 回 度数分布表の作成②（度数の集計、その他計算）

第 11 回 ヒストグラムとは

第 12 回 ヒストグラムの作成

第 13 回 平均値、中央値、最頻値とそれぞれの特性①

第 14 回 平均値、中央値、最頻値とそれぞれの特性②

第 15 回 平均値、中央値、最頻値のそれぞれの計算と入力①

第 16 回 平均値、中央値、最頻値のそれぞれの計算と入力①

第 17 回 四分位範囲、外れ値

第 18 回 復習（データやグラフを見てどのようなことが言えるのか）

第 19 回 分布の偏り（中央値と平均値の比較）

第 20 回 絶対偏差、平均偏差

第 21 回 分散

第 22 回 標準偏差①

第 23 回 標準偏差②（シグマについて）

第 24 回 標準化とは

第 25 回 標準化の計算

第 26 回 偏差値の計算

第 27 回 復習（試験内容の発表、試験内容の演習）

第 28 回 復習（試験内容の発表、試験内容の演習）

第 29 回 期末試験

第 30 回 テスト返し、答え合わせ

第 31 回 再試験、課題

第 32 回 前期復習

後期

第 1 回 オリエンテーション（学習内容の説明学習の意義、成績評価方法、学生へのヒアリング、授業のルール説明）

第 2 回 前期の復習（平均値、中央値など）

第 3 回 前期の復習（標準偏差、標準化など）

第 4 回 母集団と標本

第 5 回 無作為抽出

第 6 回 確率

第 7 回 確率分布

第 8 回 正規分布①

第 9 回 正規分布②

第 10 回 仮説検定とは

第 11 回 点推定と区間推定①

第 12 回 点推定と区間推定②

第 13 回 仮説検定①（仮説の立て方）

第 14 回 仮説検定②（帰無仮説）

第 15 回 仮説検定③（対立仮説）

第 16 回 仮説検定④（帰無仮説と対立仮説）

第 17 回 仮説検定⑤（有意水準）

第 18 回 T 検定①

第 19 回 T 検定②

2024 年度

第 20 回 仮説検定の復習

第 21 回 散布図（分散の復習）

第 22 回 相関について（正の相関、負の相関）

第 23 回 共分散と相関係数①

第 24 回 共分散と相関係数②

第 25 回 相関分析

第 26 回 回帰直線

第 27 回 回帰分析

第 28 回 復習（試験内容の発表、演習）

第 29 回 復習（試験内容の発表、試験内容の演習）

第 30 回 期末試験

第 31 回 テスト返し、答え合わせ

第 32 回 再試験、課題

#### 授業の方法

講義、演習

#### 教材

小島 寛之（2006）『完全独習 統計学入門』ダイヤモンド社

榎村 麻里子、松下 孝太郎（2020）『留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint 入門』技術評論社

#### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

平常点は、授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

復習プリントを配布し、次回の授業で確認する。

2024 年度

実務経験と授業科目の関係

# ビジネスライティング I

## 授業の目的・概要

- ・ JLPT N3 に合格する。
- ・ 日本語能力試験(JLPT)N3 合格を目指し、重要な語彙・文法・文章構造について理解できる。
- ・ 演習問題を通して試験の各分野(文字語彙・文法・読解・聴解)の問題の特徴や解き方のポイントを理解し、実際に問題が解けるようになる。
- ・ 自身の強み、弱みを認識し、繰り返し問題を練習しながら就職・進学に活かせる日本語能力を養う。

科	DX ビジネス	教員	金地 哲汰
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	64 時間

## 目標

日本語能力試験(JLPT)の合格目標レベル・クラスによって、本科目の目的・目標の認識に差が出ないようにする。

日本語能力試験が 7 月と 12 月に実施されるため、初回授業で申込を確認し、過去問等を配布する。(全員受験が望ましい)

### 前期

- 1.日本語能力試験(JLPT)の重要性を学ぶことで、就職・進学のために必要な日本語レベルを理解し、勉強のモチベーションに繋げる。
- 2.実際の試験形式の問題を解くことで、試験問題の特徴、解き方のポイントを理解し、試験に慣れることができる。
- 3.JLPT N3 合格のために必要な語彙・文法・読解の知識を蓄える。

### 後期

1.演習問題を通して自身の得意・不得意な点を分析し、集中的に練習問題・模擬試験に取り組むことで、苦手とする問題を克服することができる。

2.JLPT 試験結果を受け、自身のスキルと目標レベルを再確認したうえで、応用問題・JLPT 過去問題を解き進める。

## 授業計画

文法問題に関して、「ページを進める」ではなく、「学生が内容を理解すること」に重きを置く。

一方通行の講義スタイルで知識を教えるのではなく、学生から知識を引き出すため・学生が正しい知識を身に着けているかの確認のため、学生に発言させる。

試験日が近くなったら過去問を配布し、宿題として家で解いてくるように指示し、解説や質問対応を授業内で行う。

### 前期

#### 第 1 週

- ・オリエンテーション(JLPT7月の申し込み確認)JLPT 保持級確認
- ・文法【第 1 日】 pp.6-8
- ・文法【第 1 日】 pp.9-11
- ・文法【第 1 日】 pp.12-15

#### 第 2 週

- ・読解問題 pp.6-9
- ・読解問題 pp.10-13
- ・読解問題 pp.14-17
- ・聴解問題「準備をしましょう」1 pp.11-17

#### 第 3 週

- ・文法【第 2 日】 pp.16-18
- ・文法【第 2 日】 pp.19-21
- ・文法【第 2 日】 pp.22-25
- ・読解問題 pp.18-21

第 4 週

- ・ 読解問題 pp.22-25
- ・ 読解問題 pp.26-29
- ・ 聴解問題「準備をしましょう」2 pp.18-21
- ・ 文法【第 3 日】 pp.26-28

第 5 週

- ・ 文法【第 3 日】 pp.29-31
- ・ 文法【第 3 日】 pp.32-35
- ・ 読解問題 pp.30-31
- ・ 読解問題 pp.38-41

第 6 週

- ・ 読解問題 pp.42-45
- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」1 pp.23-27
- ・ 文法【第 4 日】 pp.36-38
- ・ 文法【第 4 日】 pp.39-41

第 7 週

- ・ 文法【第 4 日】 pp.42-45
- ・ 読解問題 pp.46-49
- ・ 読解問題 pp.50-52
- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」2 pp.28-31

第 8 週

- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」2 pp.28-31
- ・ 文法【第 5 日】 pp.46-pp.48
- ・ 文法【第 5 日】 pp.49-51
- ・ 文法【第 5 日】 pp.52-55

第 9 週

- ・ 読解問題 pp.58-61

- ・ 読解問題 pp.62-65
- ・ 読解問題 pp.66-69
- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」3 pp.32-35

第 10 週

- ・ 文法【第 6 日】 pp.56-58
- ・ 文法【第 6 日】 pp.59-61
- ・ 文法【第 6 日】 pp.62-65
- ・ 読解問題 pp.70-73

第 11 週

- ・ 読解問題 pp.78-81
- ・ 読解問題 pp.82-85
- ・ 聴解問題「いろいろな場所で聞きましょう」1 pp.37-41
- ・ 文法【第 7 日】 pp.66-68

第 12 週

- ・ 文法【第 7 日】 pp.69-71
- ・ 文法【第 7 日】 pp.72-75
- ・ 読解問題 pp.86-89
- ・ 読解問題 pp.90-93

第 13 週

- ・ 読解問題 pp.94-97
- ・ 聴解問題「いろいろな場所で聞きましょう」2 pp.42-45
- ・ 文法【第 8 日】 pp.76-pp78
- ・ 文法【第 8 日】 pp.79-81

第 14 週

- ・ 文法【第 8 日】 pp.82-85-
- ・ 読解問題 pp.98-101
- ・ 読解問題 pp.102-105

- ・聴解問題 「いろいろな場所で聞きましょう」 3 pp.46~49

第 15 週

- ・文法【第 9 日】 pp.86-88
- ・文法【第 9 日】 pp.89-91
- ・文法【第 9 日】 pp.92-95
- ・読解問題 pp.106-109

第 16 週

- ・前期復習
- ・試験
- ・試験返却・フィードバック
- ・再試験

後期

第 1 週

- ・オリエンテーション(JLPT12月の申し込み確認) JLPT7月の結果確認
- ・読解問題 pp.110-113
- ・聴解問題 「いろいろな内容を聞きましょう」 1 pp.51-53
- ・文法【第 10 日】 pp.96-98

第 2 週

- ・文法【第 10 日】 pp.99-101
- ・文法【第 10 日】 pp.102-105
- ・読解問題 pp.114-117
- ・読解問題 pp.118-121

第 3 週

- ・聴解問題 「いろいろな内容を聞きましょう」 2 pp.54-57
- ・文法【第 11 日】 pp.106-108
- ・文法【第 11 日】 pp.109-111

- ・ 文法【第 11 日】 pp.112-115

第 4 週

- ・ 読解問題 pp.122-125
- ・ 読解問題 pp.126-129
- ・ 聴解問題「いろいろな内容を聞きましょう」 3 pp.58-61
- ・ 文法【第 12 日】 pp.116-118

第 5 週

- ・ 文法【第 12 日】 pp.119-121
- ・ 文法【第 12 日】 pp.122-125
- ・ 読解問題 pp.130-133
- ・ 読解問題 pp.134-137

第 6 週

- ・ 聴解問題「総まとめ問題」 1 pp.63-67
- ・ 文法【第 13 日】 pp.126-128
- ・ 文法【第 13 日】 pp.128-131
- ・ 文法【第 13 日】 pp.132-135

第 7 週

- ・ 読解問題 pp.138-141
- ・ 読解問題 pp.142-145
- ・ 聴解問題「総まとめ問題」 2pp.68-
- ・ 文法【第 14 日】 pp.136- 138

第 8 週

- ・ 文法【第 14 日】 pp.139-141
- ・ 文法【第 14 日】 pp.142-145
- ・ 読解問題 pp.148-151
- ・ 読解問題 pp.152-155

第 9 週

・ 読解問題 pp156-159

・ 文法【第 15 日】 pp.146-148

・ 文法【第 15 日】 pp.149-151

・ 文法【第 15 日】 pp.152-155

第 10 週

・ 文法【第 16 日】 pp.156-158

・ 文法【第 16 日】 pp.159-161

・ 文法【第 16 日】 pp.162-165

・ 文法【第 17 日】 pp.166-168

第 11 週

・ 文法【第 17 日】 pp.169-171

・ 文法【第 17 日】 pp.172-175

・ 文法【第 18 日】 pp.176-178

・ 文法【第 18 日】 pp.179-181

第 12 週

・ 文法【第 18 日】 pp.182-185

・ 文法【第 19 日】 pp.186-188

・ 文法【第 19 日】 pp.189-191

・ 文法【第 19 日】 pp.192-195

第 13 週

・ 文法【第 20 日】 pp.196-198

・ 文法【第 20 日】 pp.199-201

・ 文法【第 20 日】 pp.202-205

・ 模擬試験 1(2018 年度版) 文字・語彙 1 問題 1~問題 3

第 14 週

・ 模擬試験 2(2018 年度版) 文字・語彙 2 問題 4~問題 5

・ 模擬試験 3(2018 年度版) 文法 問題 1~問題 3

2024 年度

・ 模擬試験 4(2018 年度版) 読解 1 問題 4

・ 模擬試験 5(2018 年度版) 読解 2 問題 5

第 15 週

・ 模擬試験 6(2018 年度版) 読解 3 問題 6

・ 模擬試験 7(2018 年度版) 読解 4 問題 7

・ 模擬試験 8(2018 年度版) 聴解 1 問題 1、問題 2

・ 模擬試験 9(2018 年度版) 聴解 2 問題 3~問題 5

第 16 週

・ 後期復習

・ 試験

・ 試験返却・フィードバック

・ 再試験

#### 授業の方法

講義、問題演習

#### 教材

・ 文法:日本語能力試験 20 日で合格 N3 文字・語彙・文法 /国書日本語学校

・ 読解:新完全マスター読解 日本語能力試験 N3

・ 聴解:日本語能力試験対策 日本語総まとめ聴解 N3

・ 過去問:JLPT 公式 HP からダウンロード <https://www.jlpt.jp/samples/sampleindex.html>

#### 評価の方法

試験 80%、平常点 20%

平常点は、授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

復習プリントを配布し、次回の授業で確認する。

2024 年度

実務経験と授業科目の関係

# ビジネスリーディング I

## 授業の目的・概要

- ・ JLPT N3 に合格する。
- ・ 日本語能力試験(JLPT)N3 合格を目指し、重要な語彙・文法・文章構造について理解できる。
- ・ 演習問題を通して試験の各分野(文字語彙・文法・読解・聴解)の問題の特徴や解き方のポイントを理解し、実際に問題が解けるようになる。
- ・ 自身の強み、弱みを認識し、繰り返し問題を練習しながら就職・進学に活かせる日本語能力を養う。

科	DX ビジネス	教員	金地 哲汰
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	64 時間

## 目標

日本語能力試験(JLPT)の合格目標レベル・クラスによって、本科目の目的・目標の認識に差が出ないようにする。

日本語能力試験が 7 月と 12 月に実施されるため、初回授業で申込を確認し、過去問等を配布する。(全員受験が望ましい)

### 前期

- 1.日本語能力試験(JLPT)の重要性を学ぶことで、就職・進学のために必要な日本語レベルを理解し、勉強のモチベーションに繋げる。
- 2.実際の試験形式の問題を解くことで、試験問題の特徴、解き方のポイントを理解し、試験に慣れることができる。
- 3.JLPT N3 合格のために必要な語彙・文法・読解の知識を蓄える。

### 後期

1.演習問題を通して自身の得意・不得意な点を分析し、集中的に練習問題・模擬試験に取り組むことで、苦手とする問題を克服することができる。

2.JLPT 試験結果を受け、自身のスキルと目標レベルを再確認したうえで、応用問題・JLPT 過去問題を解き進める。

## 授業計画

文法問題に関して、「ページを進める」ではなく、「学生が内容を理解すること」に重きを置く。

一方通行の講義スタイルで知識を教えるのではなく、学生から知識を引き出すため・学生が正しい知識を身に着けているかの確認のため、学生に発言させる。

試験日が近くなったら過去問を配布し、宿題として家で解いてくるように指示し、解説や質問対応を授業内で行う。

### 前期

#### 第 1 週

- ・オリエンテーション(JLPT7月の申し込み確認)JLPT 保持級確認
- ・文法【第 1 日】 pp.6-8
- ・文法【第 1 日】 pp.9-11
- ・文法【第 1 日】 pp.12-15

#### 第 2 週

- ・読解問題 pp.6-9
- ・読解問題 pp.10-13
- ・読解問題 pp.14-17
- ・聴解問題「準備をしましょう」1 pp.11-17

#### 第 3 週

- ・文法【第 2 日】 pp.16-18
- ・文法【第 2 日】 pp.19-21
- ・文法【第 2 日】 pp.22-25
- ・読解問題 pp.18-21

第 4 週

- ・ 読解問題 pp.22-25
- ・ 読解問題 pp.26-29
- ・ 聴解問題「準備をしましょう」2 pp.18-21
- ・ 文法【第 3 日】 pp.26-28

第 5 週

- ・ 文法【第 3 日】 pp.29-31
- ・ 文法【第 3 日】 pp.32-35
- ・ 読解問題 pp.30-31
- ・ 読解問題 pp.38-41

第 6 週

- ・ 読解問題 pp.42-45
- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」1 pp.23-27
- ・ 文法【第 4 日】 pp.36-38
- ・ 文法【第 4 日】 pp.39-41

第 7 週

- ・ 文法【第 4 日】 pp.42-45
- ・ 読解問題 pp.46-49
- ・ 読解問題 pp.50-52
- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」2 pp.28-31

第 8 週

- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」2 pp.28-31
- ・ 文法【第 5 日】 pp.46-pp.48
- ・ 文法【第 5 日】 pp.49-51
- ・ 文法【第 5 日】 pp.52-55

第 9 週

- ・ 読解問題 pp.58-61

- ・ 読解問題 pp.62-65
- ・ 読解問題 pp.66-69
- ・ 聴解問題「問題のパターンに慣れましょう」3 pp.32-35

第 10 週

- ・ 文法【第 6 日】 pp.56-58
- ・ 文法【第 6 日】 pp.59-61
- ・ 文法【第 6 日】 pp.62-65
- ・ 読解問題 pp.70-73

第 11 週

- ・ 読解問題 pp.78-81
- ・ 読解問題 pp.82-85
- ・ 聴解問題「いろいろな場所で聞きましょう」1 pp.37-41
- ・ 文法【第 7 日】 pp.66-68

第 12 週

- ・ 文法【第 7 日】 pp.69-71
- ・ 文法【第 7 日】 pp.72-75
- ・ 読解問題 pp.86-89
- ・ 読解問題 pp.90-93

第 13 週

- ・ 読解問題 pp.94-97
- ・ 聴解問題「いろいろな場所で聞きましょう」2 pp.42-45
- ・ 文法【第 8 日】 pp.76-pp78
- ・ 文法【第 8 日】 pp.79-81

第 14 週

- ・ 文法【第 8 日】 pp.82-85-
- ・ 読解問題 pp.98-101
- ・ 読解問題 pp.102-105

- ・聴解問題 「いろいろな場所で聞きましょう」 3 pp.46~49

第 15 週

- ・文法【第 9 日】 pp.86-88
- ・文法【第 9 日】 pp.89-91
- ・文法【第 9 日】 pp.92-95
- ・読解問題 pp.106-109

第 16 週

- ・前期復習
- ・試験
- ・試験返却・フィードバック
- ・再試験

後期

第 1 週

- ・オリエンテーション(JLPT12月の申し込み確認)JLPT7月の結果確認
- ・読解問題 pp.110-113
- ・聴解問題 「いろいろな内容を聞きましょう」 1 pp.51-53
- ・文法【第 10 日】 pp.96-98

第 2 週

- ・文法【第 10 日】 pp.99-101
- ・文法【第 10 日】 pp.102-105
- ・読解問題 pp.114-117
- ・読解問題 pp.118-121

第 3 週

- ・聴解問題 「いろいろな内容を聞きましょう」 2 pp.54-57
- ・文法【第 11 日】 pp.106-108
- ・文法【第 11 日】 pp.109-111

- ・ 文法【第 11 日】 pp.112-115

第 4 週

- ・ 読解問題 pp.122-125
- ・ 読解問題 pp.126-129
- ・ 聴解問題「いろいろな内容を聞きましょう」 3 pp.58-61
- ・ 文法【第 12 日】 pp.116-118

第 5 週

- ・ 文法【第 12 日】 pp.119-121
- ・ 文法【第 12 日】 pp.122-125
- ・ 読解問題 pp.130-133
- ・ 読解問題 pp.134-137

第 6 週

- ・ 聴解問題「総まとめ問題」 1 pp.63-67
- ・ 文法【第 13 日】 pp.126-128
- ・ 文法【第 13 日】 pp.128-131
- ・ 文法【第 13 日】 pp.132-135

第 7 週

- ・ 読解問題 pp.138-141
- ・ 読解問題 pp.142-145
- ・ 聴解問題「総まとめ問題」 2pp.68-
- ・ 文法【第 14 日】 pp.136- 138

第 8 週

- ・ 文法【第 14 日】 pp.139-141
- ・ 文法【第 14 日】 pp.142-145
- ・ 読解問題 pp.148-151
- ・ 読解問題 pp.152-155

第 9 週

・ 読解問題 pp156-159

・ 文法【第 15 日】 pp.146-148

・ 文法【第 15 日】 pp.149-151

・ 文法【第 15 日】 pp.152-155

第 10 週

・ 文法【第 16 日】 pp.156-158

・ 文法【第 16 日】 pp.159-161

・ 文法【第 16 日】 pp.162-165

・ 文法【第 17 日】 pp.166-168

第 11 週

・ 文法【第 17 日】 pp.169-171

・ 文法【第 17 日】 pp.172-175

・ 文法【第 18 日】 pp.176-178

・ 文法【第 18 日】 pp.179-181

第 12 週

・ 文法【第 18 日】 pp.182-185

・ 文法【第 19 日】 pp.186-188

・ 文法【第 19 日】 pp.189-191

・ 文法【第 19 日】 pp.192-195

第 13 週

・ 文法【第 20 日】 pp.196-198

・ 文法【第 20 日】 pp.199-201

・ 文法【第 20 日】 pp.202-205

・ 模擬試験 1(2018 年度版) 文字・語彙 1 問題 1~問題 3

第 14 週

・ 模擬試験 2(2018 年度版) 文字・語彙 2 問題 4~問題 5

・ 模擬試験 3(2018 年度版) 文法 問題 1~問題 3

2024 年度

・ 模擬試験 4(2018 年度版) 読解 1 問題 4

・ 模擬試験 5(2018 年度版) 読解 2 問題 5

第 15 週

・ 模擬試験 6(2018 年度版) 読解 3 問題 6

・ 模擬試験 7(2018 年度版) 読解 4 問題 7

・ 模擬試験 8(2018 年度版) 聴解 1 問題 1、問題 2

・ 模擬試験 9(2018 年度版) 聴解 2 問題 3~問題 5

第 16 週

・ 後期復習

・ 試験

・ 試験返却・フィードバック

・ 再試験

#### 授業の方法

講義、問題演習

#### 教材

・ 文法:日本語能力試験 20 日で合格 N3 文字・語彙・文法 /国書日本語学校

・ 読解:新完全マスター読解 日本語能力試験 N3

・ 聴解:日本語能力試験対策 日本語総まとめ聴解 N3

・ 過去問:JLPT 公式 HP からダウンロード <https://www.jlpt.jp/samples/sampleindex.html>

#### 評価の方法

試験 80%、平常点 20%

平常点は、授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

復習プリントを配布し、次回の授業で確認する。

2024 年度

実務経験と授業科目の関係

# ビジネス文書Ⅰ

## 授業の目的・概要

日本のビジネスシーンにおける重要な文書やメールに関する知識・技能を身に付けることができる。社内や取引先とのやり取り、会議、事務でのビジネスライティングを想定して、文章を書くために必要な基礎知識(ビジネス用語・漢字・書式・用途)と、実用的な作文技能を身に付けることができる。基本を把握し、実際に自身の言葉で簡潔かつ明瞭な文章が書けるようになる。正しい敬語表現を身に付け、ビジネスシーンにおいて必要なマナーを習得する。

科	DX ビジネス	教員	東矢 優月
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	—
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 時間

## 目標

### 前期

ビジネスライティングの重要性を理解し、就職・進学のための目標を明確にする。  
日本のビジネス文書における基本的なポイントを理解し、それらに慣れることができる。  
社内外で使用する文書の種類や書式を把握、読解できるようになる。  
正しい漢字や敬語表現を覚えられる。

### 後期

日本のビジネスメールにおける基本的なポイントを理解し、それらに慣れることができる。  
メール作成の際の注意点を把握し、正しい漢字や敬語表現で作文できる。  
実践的にメールを作成し、就職活動での企業とのやり取りをスムーズに行えるようになる。  
就職後のビジネスシーンにおいても活用できるようになる。

## 授業計画

50 分週 1 コマ

### 前期 (16weeks)

- |       |  |
|-------|--|
| 第 1 回 | オリエンテーション (自己紹介、アイスブレイク、授業目的・評価方法・授業外での学習方法の明確化、目標設定、導入) |
| 第 2 回 | ビジネス文書作成時の注意点 p.27~28、敬語 (丁寧な表現) p.30                    |
| 第 3 回 | 敬語 (自称と他称、「お」「ご」) p.31~32                                |
| 第 4 回 | 敬語 (「お」「ご」、敬語動詞) p.33~34                                 |
| 第 5 回 | 敬語 (敬語の表現) p.35~36                                       |
| 第 6 回 | 社内文書 基本書式 p.13~15、稟議書                                    |
| 第 7 回 | 社内文書 報告書、議事録、  |

第 8 回	社内文書 企画・提案書、議事録、
第 9 回	社外文書 基本書式 p.16~19、依頼状
第 10 回	社外文書 詫び状、通知・案内状
第 11 回	社外文書 回答、請求状・督促状
第 12 回	前期のまとめ 総復習
第 13 回	期末試験対策
第 14 回	期末試験
第 15 回	試験返却、フィードバック
第 16 回	再試験

### 後期 (16weeks)

第 1 回	前期の振り返り
第 2 回	封筒の書き方 p.24~26
第 3 回	送付状、ファックス送付状、縦書きの文書
第 4 回	メールの基本 p.82~85 書式
第 5 回	メールの基本 p.86~87 あいさつ、結びの文
第 6 回	メール 実践～履歴書送付～
第 7 回	メール 文例 1
第 8 回	メール 実践～面接日時～
第 9 回	メール 文例 4
第 10 回	メール 実践～内定式出欠～
第 11 回	メール 文例 8
第 12 回	後期のまとめ 総復習
第 13 回	期末試験対策
第 14 回	期末試験
第 15 回	試験返却、フィードバック
第 16 回	再試験

### 授業の方法

#### 【講義】

#### 教科書

1.文書の種類や書き方、各単元の文章やメールの内容を理解できるよう解説する（授業プリントなどを使用）。

#### 【実践】

1.Googlemeet を使用し、教員が実際にメールを作成する様子を画面共有することで、作成方法を理解させる。

2.お題に沿ったメールを作成させ、教員のアドレスに送信させる（添削して返信）。

2024 年度

教材

奥村真希、安河内貴子（2007）『日本語ビジネス文書マニュアル』株式会社アスク

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

期末試験はペーパーテストを行う。

平常点は普段の授業態度および漢字テストで評価する。

授業外での学習方法

- 1.授業内容の復習
- 2.漢字テストへ向けての学習
- 3.就職活動でのメールのやり取りで、学習した表現を使用する

実務経験と授業科目の関係

# プログラミング (JAVA) I

## 授業の目的・概要

- アプリケーション開発の基礎を理解するために、Java のプログラミング言語を学ぶ。
- 目的を持ってアプリケーションの仕組みを考え、プログラミングによって実現する能力を養う。

科	DX ビジネス	教員	澤 友規
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	96 時間(週 3 時間)

## 目標

- プログラミングの習得に必要な基礎文法を理解する。
- Java 言語を利用したアプリケーション開発手法の基礎を理解する。
- キャラクターベースのアプリケーションを企画して作成できる。
- より高度なアプリケーション開発に必要なクラスとインスタンスの概念を理解する。

## 授業計画

### 〈前期〉

週	内容	詳細
第 1 週	オリエンテーション	プログラミングを勉強する前に、プログラミングとは何か、勉強する目的を理解する。
第 2 週	環境構築、プロジェクトの作成、クラスの作成	プログラムの実行環境の整備と使い方の理解、一つのプログラムを作成して実行する手順を理解する。
第 3 週	変数引数	コンピュータが値を記憶する変数と、値を渡す引数を理解する。
第 4 週	データ型	データの種類を理解して、種類に応じた使い方を理解する。
第 5 週	if 文 1	条件によって実行する処理を変える if 文を理解する。

第 6 週	if 文 2	if 文を利用したプログラムを作成できる。
第 7 週	乱数	乱数を用いて実行結果が変化するプログラムを作成できる。
第 8 週	数字の入力 1	Scanner クラスを用いて数字を入力し、値を使用する方法を理解する。
第 9 週	数字の入力 2	Scanner クラスを利用して入力した数字を使ったプログラムを作成できる。
第 10 週	for 文 1	条件によって繰り返して処理を実行する for 文を理解する。
第 11 週	for 文 2	for 文を利用したプログラムを作成できる。
第 12 週	配列 1	複数の値を記憶する配列の概念と使い方を理解する。
第 13 週	配列 2	配列を利用したプログラムを作成できる。
第 14 週	前期期末試験	
第 15 週	試験返却、フィードバック	
第 16 週	再試験	

〈後期〉

週	内 容	詳 細
第 1 週	前期の復習	
第 2 週	文字列の入力 1	Scanner クラスを用いて文字列を入力し、値を使用する方法を理解する。
第 3 週	文字列の入力 2	Scanner クラスを利用して入力した文字列を使ったプログラムを作成できる。
第 4 週	二次元配列	複雑な構成のデータを扱う二次元配列の概念と使い方を理解する。
第 5 週	メソッド 1	処理をまとめて記述するメソッドの作成と使い方を理解する。
第 6 週	メソッド 2	メソッドを利用したプログラムを作成する。
第 7 週	クラス 1	クラスとオブジェクトの概念を理解する。
第 8 週	クラス 2	クラスの定義方法とインスタンス化の概念を理解する。
第 9 週	アプリ作成実習 1	模擬テーマ（日本語クイズ）による企画設計
第 10 週	アプリ作成実習 2	模擬テーマによるアプリ作成

2024 年度

第 11 週	アプリ作品作成 1	選択テーマ（漢字クイズ、カードゲーム、数字当てゲーム）による企画設計
第 12 週	アプリ作品作成 2	選択テーマによるアプリ作成
第 13 週	アプリ作品作成 3	アプリの発表
第 14 週	後期期末試験	
第 15 週	試験返却・フィードバック	
第 16 週	再試験	

#### 授業の方法

- ・ 適時教材のプリントを配布する。
- ・ 実行環境を用意した学生の PC を用いた演習を行う。

#### 教材

自作教材

#### 評価の方法

試験 80%、平常点 20%

試験は、課題提出（授業内で行う練習問題）筆記試験（Java 言語）に応じて評価する。（各 40%）  
平常点は、授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

- ・ 生活の中にあるアプリケーションを意識して、動作する仕組みをイメージする。

#### 実務経験と授業科目の関係

# 日本経済・企業論

## 授業の目的・概要

大目標を複数のプロジェクトにブレイクダウンし、期日を決めて目標設定できる。

科	DX ビジネス	教員	松本 隆志
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 コマ

## 目標

### 前期

- ・ 経営学を学ぶ意義を説明できる。
- ・ 経営戦略の種類を理解し、効率化の観点から戦略の提案ができる。
- ・ 経営管理の視点を加味して、経営戦略案の提案ができる。

### 後期

- ・ リスクについて理解し、リスク分析ができる。
- ・ 様々な視点からプロジェクトの現状を説明することができる。
- ・ テーマに沿ったプロジェクトを企画し、目標の設定・実施要領の作成・役割分担表の作成ができる
- ・ 目標を達成するための適切な業務設定を行い、実行することが出来る

## 授業計画

### 前期

- 第 1 回 授業の目的、本講義の全体像
- 第 2 回 経営学とは何か、企業とは何か
- 第 3 回 経営戦略（概要、種類）
- 第 4 回 現在求められている経営戦略（環境戦略・サステナビリティ戦略）

第 5 回 現在求められている経営戦略（システム・DX 戦略）

第 6 回 学校の営業戦略提案（グループワーク）

第 7 回 学校の営業戦略発表（グループワーク）

第 8 回 発表へのフィードバック

※評価基準：内容⇒様々な視点から考えられているか

その他⇒意見をまとめる際多数決のみやなんとなくで決めていないか

発表時に意見の寄せ集めになっていないか

第 9 回 発表へのフィードバック

※評価基準：内容⇒様々な視点から考えられているか

その他⇒意見をまとめる際多数決のみやなんとなくで決めていないか

発表時に意見の寄せ集めになっていないか

第 10 回 経営管理（ヒト・モノ）

第 11 回 経営管理（予算）

第 12 回 経営管理（SDG s）

第 13 回 フィードバック・前期の復習

第 14 回 試験

第 15 回 試験返却・フィードバック

第 16 回 再試験

後期

第 1 回 前期の復習、後期授業の目標・全体像

第 2 回 プロジェクト事例紹介

第 3 回 リスク分析手法+リスク分析（グループワーク：具体例から実際にリスク分析を行う）

第 4 回 リスク分析結果発表

第 5 回 プロジェクト管理方法

第 6 回 プロジェクト計画（ゴールの設定・やらないことの決定・制約条件）

第 7 回 プロジェクト計画（Todo リストの作成・スケジュールの作成・全体を見る）

第 8 回	プロジェクト計画（リスク管理、トラブル対応）
第 9 回	プロジェクト設定（テーマ：1 年後の企業説明会の開催など） 設定したプロジェクトの実施要領・役割分担表の作成（グループワーク） ※役割分担表は、クラス全体を当てはめて作成
第 10 回	設定したプロジェクトの実施要領・役割分担表の作成（グループワーク）
第 11 回	設定したプロジェクトの実施要領・役割分担表の作成（グループワーク）
第 12 回	設定したプロジェクトの実施要領・役割分担表の作成（グループワーク）
第 13 回	作成した実施要領・役割分担表の発表・フィードバック
第 14 回	作成した実施要領・役割分担表の発表・フィードバック、提出
第 15 回	実施要領・役割分担表へのフィードバック（担任から）  評価基準：内容⇒プロジェクト実施に向けて業務をブレイクダウンできているか  様々な観点からタスクの整理を行うことができているか  各業務の期日を設定できているか
第 16 回	予備日

授業の方法

講義・グループワーク

教材

教科書：特になし

参考資料：

飯田剛弘（2017）『PMBOK 対応 童話でわかるプロジェクトマネジメント』秀和システム

（内容未確認、わかりやすさの点で評価の高い書籍）

塩次 喜代明（2019）『経営管理（有斐閣アルマ）』有斐閣

網倉 久永、新宅 純二郎（2011）『経営戦略入門』日経 BP マーケティング

評価の方法

試験 80%、平常点 20%

2024 年度

平常点は、授業態度に応じて評価する。

授業外での学習方法

日々のニュースを見て、日本企業がとる経営への取り組みについて情報を集めること。

実務経験と授業科目の関係

# サイバーセキュリティ I

## 授業の目的・概要

- (1)情報セキュリティリスクを排除したデータ運用ができる。
- (2)情報セキュリティに関して、IT パスポート試験に合格できる知識を身に着ける。

科	DX ビジネス	教員	松本 隆志
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	なし
対象年次	1 年次	年間単位時間	32 時間 (週 1 時間)

## 目標

### 前期

- 1.情報セキュリティの目的とその種類を説明することができる。
- 2.情報資産への脅威・脆弱性について説明することができる。
- 3.サイバー攻撃の手法とその対策について説明することができる。

### 後期

- 4.サイバー攻撃の手法とその対策について説明することができる。
- 5.セキュリティ技術とその種類について説明することができる。

## 授業計画

〈前期〉 16 週 × 1

前期だと災害に関する脅威と対策まで

第 1 回 オリエンテーション (授業の目的、本講義の全体像、情報セキュリティの概要)

第 2 回 情報セキュリティの目的、機密性・完全性・可用性

第 3 回 情報セキュリティの目的、機密性・完全性・可用性・問題演習

第 4 回 情報資産、脅威、脆弱性・問題演習

第 5 回 脅威の種類（物理的脅威、技術的脅威、人的脅威）・問題演習

第 6 回 脆弱性の種類（物理的脆弱性、技術的脆弱性、人的脆弱性）・問題演習

第 7 回 サイバー攻撃方法（不正アクセス）、

ブルートフォース攻撃、辞書攻撃、パスワードリスト攻撃と各攻撃への対策・問題演習

第 8 回 盗聴、盗聴の種類（スニファ、電波傍受、キーボードロギング）とその対策・問題演習

第 9 回 なりすましの種類（パスワードリスト攻撃、フィッシング、MITB・MITM）とその対策  
・問題演習

第 10 回 DoS 攻撃・DDoS 攻撃とその対策・問題演習

第 11 回 ソーシャルエンジニアリング（ショルダーハッキング、スキャベンジング、会話）とその対策・  
問題演習

第 12 回 前期の復習①

第 13 回 前期の復習②

第 14 回 試験

第 15 回 試験返却・フィードバック

第 16 回 再テスト

〈後期〉16 週

第 1 回 クロスサイトスクリプティング、クロスサイトリクエストフォージェリ、SQL インジェクション  
とその対策・問題演習

第 2 回 標的型攻撃（メール、水飲み場型攻撃、やり取り型攻撃）、ゼロデイ攻撃とその対策・問題演習

第 3 回 セキュリティの概要（組織的・人的な取り組み、セキュリティ技術）

セキュリティ技術の種類（暗号化、認証、マルウェア対策、フィルタリング）

第 4 回 セキュリティの概要（組織的・人的な取り組み、セキュリティ技術）

セキュリティ技術の種類（暗号化、認証、マルウェア対策、フィルタリング）・問題演習

- 第 5 回 暗号化、復号、共通鍵暗号方式
- 第 6 回 公開鍵暗号方式、共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の違い
- 第 7 回 公開鍵暗号方式、共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の違い・問題演習
- 第 8 回 認証の概要、パスワード認証、ワンタイムパスワード・問題演習
- 第 9 回 バイオメトリクス認証（指紋、虹彩、声紋、静脈パターン）・問題演習
- 第 10 回 デジタル署名、PKI
- 第 11 回 デジタル署名、PKI・問題演習
- 第 12 回 前期の復習①
- 第 13 回 前期の復習②
- 第 14 回 試験
- 第 15 回 試験返却・フィードバック
- 第 16 回 再テスト

#### 授業の方法

講義、グループワーク

#### 教材

五十嵐 聡（2021）『最短突破 情報セキュリティ初級認定試験 公式テキスト』技術評論社

・令和 3 年秋 応用情報技術者試験午後 問 1

・社内レイアウト <http://www.roueitaisaku.info/officesecurity/person.html>

#### 評価の方法

試験:80%、平常点 20%

平常点は、グループワークや授業態度に応じて評価する。

#### 授業外での学習方法

[IT パスポート過去問道場 | IT パスポート試験ドットコム \(itpassportsiken.com\)](http://itpassportsiken.com)

2024 年度

[基本情報技術者過去問道場 | 基本情報技術者試験.com \(fe-siken.com\)](https://www.fe-siken.com/)

※試験の過去問演習を行い、知識の定着を図る

実務経験と授業科目の関係

なし

# デジタルトランスフォーメーション I

## 授業の目的・概要

大規模な集客を実現する方法やより多くの収益をあげる方法、業務を効率化する方法など、デジタル技術  
をビジネスに活用する方法を考えられるようになる。多くの顧客を集客できるような Web ページを構築で  
きるようになる。あらゆるビジネスを「逆算」で捉えられるようになる。

科	DX ビジネス	教員	牧野 優志
コース	DX ビジネス	教員の実務経験	
対象年次	1 年次	年間単位時間	64 コマ

## 目標

- DX の根幹となる逆算の考え方をを用いて、様々な企業のケースを説明することができる。
- DX がビジネス改革だということを、具体的な例を挙げながら説明することができる。
- ホームページとソーシャルメディアを活用し、潜在顧客に自社製品を認知してもらうための情報発信が  
できるようになる。
- 商品を遠くに早くたくさん売ることができる EC プラットフォームを活用するメリットについて理解を  
深められるようになる。
- 取引から在庫管理・売上管理を一元化できる POS レジアプリを活用するメリットについて理解を深め  
られるようになる。
- 十分な顧客獲得に必要なセッション数の目標を逆算して設定し、達成するための Web ページを制作す  
ることが出来る。

## 授業計画

### 前期

第 1 回 オリエンテーション、現代ビジネスのキーワード「DX」とは何か

「デジタルトランスフォーメーション」という言葉の意味と、登場した背景を知る。

身近に触れることもある Netflix、Spotify、Airbnb、Uber、メルカリなどのサービスを例に、DX と呼ばれる代表的な取り組みとその意義について知る。

## 第 2 回 なぜ DX が重要かーニューノーマルとデジタルディスラプションー

新型コロナウイルスの流行前後でどのように社会の在り方が変わったか、それにより私たちの社会生活はどういった変化を強いられてきたかを取り上げるとともに、コロナウイルス流行後のニューノーマル時代でデジタル技術が果たす役割を知る。またデジタル技術をうまく活用できないことで市場を追われるリスクがあることを理解する。

## 第 3 回 逆算の思考法:バックカスティング/フォアカスティング

プロジェクトの進め方として、現在を起点にする考えと未来を起点にする考えの二つがあり、フォアカスティングは短期的な、バックカスティングは長期的な課題解決にそれぞれ適していることを理解する。その上で、DX においては理想を描いた上で適切なデジタルツールを選択できるバックカスティングの方が適していることを理解する。

## 第 4 回 DX のよくある失敗

金融系システムの統合や紙媒体とハイブリットになった行政のオンライン申請を例に、長期的なゴールを明確にできず、目先の課題にとらわれたり形式だけのデジタル技術導入を目指してしまうことで DX が失敗に陥ることを理解する。

## 第 5 回 売上を上げるための DX:技術の開発と活用の違い

第 1 回で取り上げたようなドラスチックな変革を振り返り、全く新しいシステムを生み出し業界を先導できる存在は一握りであることを理解する。

一方で、メディア発信、EC サイト参画、セルフレジ導入のように既存のツールを適切に選択・導入し業務を効率化させることによって小規模な企業組織であっても DX に成功できる事例があることを知る。

## 第 6 回 オウンドメディアの役割と特性:オムロン/キーエンス/サイボウズ

オムロン/キーエンス/サイボウズを例に、オウンドメディアの使い方として、分かりやすく自社製品の特長を打ち出し購入への動線を強化する切り口と多くの人の興味を喚起するコンテンツを契機に間接的に自社の認知を増やす切り口とがありその目的の違いによってどのように HP の設計やデ

デザインが変わるかを理解する。

第 7 回 HP 制作ツールとアナリティクスについて

Google Site、ペライチ、WordPress を例に、コーディングせずに HP 制作ができるツールのそれぞれの特色と具体的な機能について知る。

第 8 回 DX のツール ビッグデータとその活用例

第 9 回 デジタイゼーション、デジタルイゼーション

第 10 回 DX のツール クラウドコンピューティング

第 11 回 DX のツール:クラウドサービスーオフィスソフト、チャット、会議、ワークフローー

第 12 回 DX のツール:クラウドサービスーERP、CRM・SFAー

第 13 回 DX のツール:RPA・AI

第 14 回 試験前復習

第 15 回 試験

第 16 回 再試験

後期

第 1 回 前期の復習、逆算の思考法第 3 回を中心に、第 1 回~第 5 回の内容を再度振り返り、定着度をチェックする。

第 2 回 E コマース:既存 EC サイトの活用

実店舗と EC サイト、またモール型 EC サイトと自社サイト型 EC サイトについて、それぞれを比較し互いのメリットデメリットについて理解する。また小規模な企業組織にとっては既存モールの知名度や集客力を活かせるという意味でモール型 EC サイトを用いるメリットが大きいことを理解する。

第 3 回 グループワーク:EC サイト活用事例調査

第 4 回 グループワーク:EC サイト活用事例調査

第 5 回 グループワーク:EC サイト活用事例発表

実際にモール型 EC サイトを活用して売上向上に成功した企業の事例をグループで調べそれぞれの企業がどの特徴に注目してそのサイトを選定し、結果としてこういった課題をカバーすることに成

功したかを軸に発表を行う。

第 6 回 ケースワーク:EC サイトの活用による改善提案

第 7 回 ケースワーク:EC サイトの活用による改善提案

第 8 回 ケースワーク:EC サイトの活用による改善提案発表

モール型 EC サイトを活用することで売り上げの改善が図れると思われる業態やサービスをグループで見つけ、具体的にどんなサイトを用いて業務を改善するかを発表する。

第 9 回 E コマース 発表フィードバック・復習

第 10 回 POS システム:顧客情報の分析

第 11 回 POS レジアプリ デモンストレーション

全サービス無料の「Air レジ」を用い、一般的に POS レジアプリにどのような機能が備わっているかを理解する。

第 12 回 POS データを活用するための分析手法

サンプルデータを用意し、スプレッドシートを用いて

ABC 分析、トレンド分析、バスケット分析、RFM 分析のシミュレーションを行う。

第 13 回 ケースワーク:POS レジアプリの活用による改善提案

第 14 回 試験前復習

第 15 回 試験

第 16 回 再試験

#### 授業の方法

講義、演習

#### 教材

自作教材を使用する

- ・ Twitter, LINE, Instagram, Tiktok
- ・ ペライチ / Google site / WordPress
- ・ モール(amazon, 楽天), ショッピングカート ASP, CMS パッケージ
- ・ Air レジ

2024 年度

<参考書>

岡嶋裕史（2019）『プログラミング教育はいらない GAF A で求められる力とは?』光文社

岡嶋裕史（2022）『実況! ビジネス力養成講義 プログラミング/システム』日本経済新聞出版

小川卓（2022）『「やりたいこと」からパッと引ける Google アナリティクス 4 設定・分析のすべてがわかる本』ソーテック社

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

平常点は、授業態度に応じて評価する。

授業外での学習方法

1. 日々のニュースを見て、企業の DX への取り組みについて情報を集めること。
2. 就職活動の一環として、志望する企業のホームページ等を見て、DX への取り組みを調べること。

実務経験と授業科目の関係